

## 秋の衣替え 冬支度 箱根ビジターセンター

寒さが増していく季節。人は暖かさを求めて服を普段より沢山着込みます。動植物はどうでしょう。人のように服を着ることはありませんが様々な手段で厳しい冬を乗り越えるための準備に勤しんでいます。

箱根ビジターセンター周辺の「子供の広場」は今年もイノシシ達のパーティー会場として大人気でした。草花の根、ミミズや甲虫の幼虫などを求めて穴を掘って餌を探します。この時期の動物たちは普段より体が大きくなっています。

植物はどうでしょう。服の色が緑から赤や黄に変わり、最後には丸裸になってしまいます。これは、秋冬の寒さや水分の乏しさから身を守るために起こりうる現象です。動物も植物も皆寒さの厳しい季節を乗り越えるために工夫しているのです。

衣替えは生き物ばかりではありません。山だって遠くからみれば紅葉の服を着たり、雪の服を着たりと衣替えを楽しんでいるようです。寒い時は暖かさが恋しいものです。ですが少し我慢をして秋冬にしか出会えない自然を探しに出かけませんか。(築紫)



大涌谷から富士山の雪衣装を望む



エサを探すウリ坊  
(イノシシの子ども)



今年の紅葉はどうでしょうか

### 【イベント案内】

#### 秦野ビジターセンター 自然教室「考えよう！自然にやさしい山歩き」

内容：丹沢の自然に触れながら登山をし、登山道整備ボランティアさんの活動現場を見学すると共に、自然にやさしい山歩きを学びます。

実施日時：2018年1月27日(土)9:20～16:00頃 参加費：1人 500円(保険代込)

場所：秦野ビジターセンターと大倉尾根 一本松付近まで(標高差約500m)

対象：中学生以上 30名 \*中学生は保護者同伴 \*応募者多数の場合抽選

共催：県立山岳スポーツセンター 協力：NPO法人 みろく山の会

申込方法：往復はがきに行事名、参加者全員の氏名・年齢・電話番号を記入し、秦野ビジターセンターまで。締切日：1月11日(木)必着

#### 西丹沢ビジターセンター 地学教室「西丹沢でジオ巡り」

内容：丹沢誕生の海底火山の証拠、枕状溶岩がメインテーマです。地学案内人の門田真人さんが小菅沢など現地でもジオパークをします。

実施日時：2017年12月2日(土)8:40～15:30 参加費：1人2,000円(資料代、保険代込)

場所：小菅沢、中川川などの野外及び西丹沢ビジターセンター

対象：一般20名(応募者多数の場合は抽選)

申込方法：往復はがきまたはFAXに行事名、参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号、FAX番号を記入し、西丹沢ビジターセンターまで。締切日：11月21日(火)必着

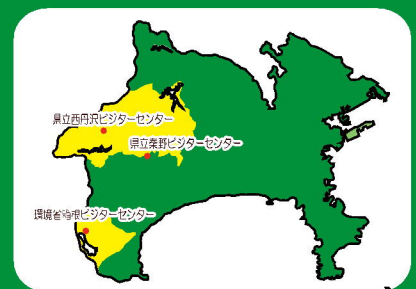
#### 箱根ビジターセンター 特別展示「箱根八里を歩く」

内容：箱根八里を歩く上でのオススメポイントを写真や体験を通してご案内します。

期間：2017年10月1日(日)～12月24日(日)9:00～16:30 入館無料

主催：箱根自然解説活動連絡協議会 協力：箱根ジオパーク推進協議会、(有)浜松屋、箱根町郷土資料館

### 自然公園へでかけよう



#### 環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根164

Tel 0460-84-9981

<http://hakonevc.sunnyday.jp/>

#### 県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513

Tel 0463-87-9300

<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawavc/>

#### 県立西丹沢ビジターセンター

(旧西丹沢自然教室)

〒258-0201 足柄上郡山北町中川867-2-9

Tel 0465-78-3940

<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawavc/>

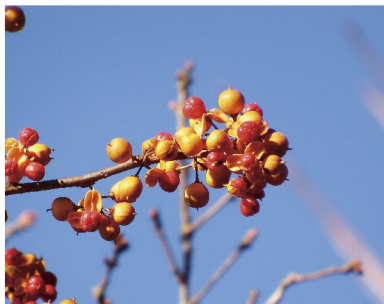
開館日、開館時間等は各ビジターセンターまで  
お問い合わせください。

## 初冬を鮮やかに彩る！ 秦野ビジターセンター

木々の葉が落ち、赤や黄に染まった森も茶や灰色の世界へと静かに変わっていきます。そんな中、丹沢山中でとても目をひく植物があります。その代表選手がツルウメドキとマユミの実。離れて見るとまるで花が咲いているかの様で、登山者からよくご質問をいただく植物の一つです。

ツルウメドキの実は、黄色の殻からが開くと朱色の皮を被った種が顔を出します。ツル性で他の木にからみつき登って広がります。マユミは桃色の殻の中から赤い皮を被った4つの種が出てきます。木々いっぱい実を付けると満開の花の様です。どちらも花は目立たず、断然実の方が目立ちます。

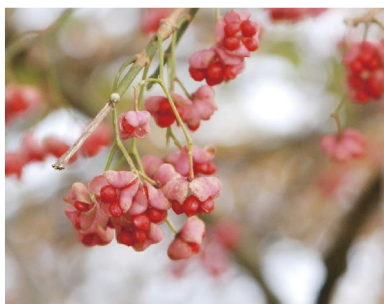
生きもの達の冬の貴重な食べ物となる木の実。鳥たちに「ここだよ！食べに来て、種を運んで！」と言っているようですね。（柳川）



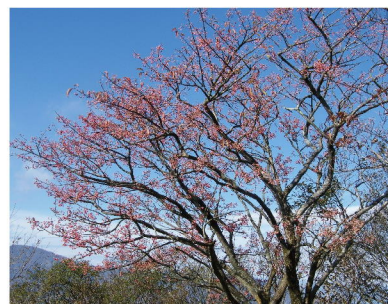
ツルウメドキの実



ツルウメドキの実(遠景)



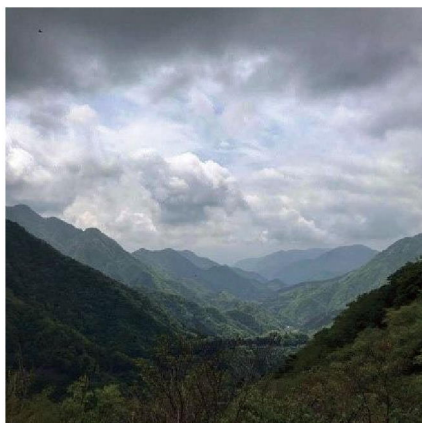
マユミの実



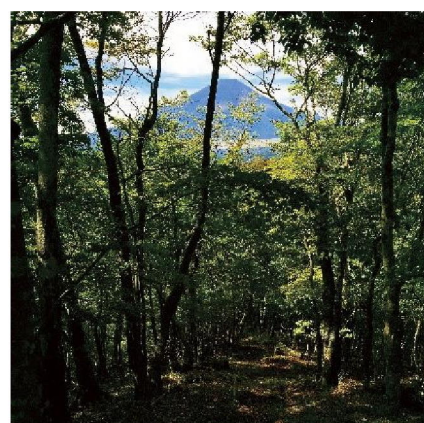
花が咲いたようなマユミ

## ロングトレイル、東海自然歩道 西丹沢ビジターセンター

全長が約1,700kmある東海自然歩道は東京都の『明治の森高尾国定公園』から大阪府の『明治の森みよお国定公園』までをつなぐロングトレイルです。全路線を踏破するには40日から50日かかります。神奈川県内では相模原市緑区の小仏峠から山を越えて西丹沢をとおり、山梨県境の高指山までを結ぶ127.5kmの山岳コースです。途中には姫次など標高1,400mを超える厳しい登山道の区間もあります。



犬越路から西丹沢を見下ろす



菰釣山付近は富士山を眺めながら歩く

東京の高尾山からスタートしたハイカーが西丹沢ビジターセンターに着くのは、三日目の午前中です。ここで休憩したあとは山中湖を目指します。先日も大きな荷物を背負ったハイカーが、笑顔で出発していきました（浅瀬～切通峠の区間は現在通行止）。近年では海外からのハイカーも多く見かけます。

急峻な場所が多い西丹沢周辺のコースですが、国指定天然記念物に指定された箒杉や本棚・下棚とよばれる滝などは、ビジターセンターから比較的近い見どころです。現代版の東海道五十三次とも呼ばれるコースのなかで、丹沢の自然と文化に触れてみてはいかがでしょうか。

冬季の丹沢は積雪もありますので、事前の情報収集と冬山の装備をお忘れなく。（澤田）



県内の東海自然歩道